

## 6.シンガポール

### (1)シンガポール人について

#### シンガポール人のプロフィール

- ・ シンガポールの人口は約 440 万人(2006 年)。民族別では、中国系(約 75%)、マレー系(約 14%)、インド系(約 9%)、その他(約 2%)にて構成される(2007 年 9 月)。宗教別では、仏教(約 43%)、イスラム教(約 15%)、キリスト教(約 15%)、道教(約 9%)、ヒンドゥー教(約 4%)などにて構成される。使用言語は、国語(マレー語)、英語(行政用語・公用語)、中国語(北京語)、マレー語、タミル語である。
- ・ シンガポールは多国籍民族によって構成される都市国家であるが、各民族間の交流はあまり見られない。シンガポール人は他民族・他宗教の習慣を尊重し合い、別々のコミュニティで生活を営んでいる。



(出典：外務省ホームページ)

#### 訪日シンガポール人旅行者の特徴

- ・ 日本を訪れるシンガポール旅行者は約 15 万 2,000 人(2007 年)。平均 5.1 日間滞在する(2006 年)。男性と女性が約 5 : 5 の割合で、性年齢別では男性 30 代(約 15%)、男性 40 代(約 14%)、女性 30 代(約 13%)の順に多い(2006 年)。

#### 訪日シンガポール人旅行者に人気の観光地

- ・ 東京(TDR、お台場、銀座、新宿など)、北海道など。大阪、九州なども人気がある。
- ・ シンガポールでは、日本のテレビ番組が放送され、温泉など、日本の様々な情報がリアルタイムで入手されている。

#### 訪日シンガポール人旅行者が日本で好きなもの

- ・ 四季と自然景観(特にシンガポールにはない大自然など)、洗練されたシティーライフ、日本食、ショッピング、ドライブ(レンタカーツアー)などに高い関心を示している。
- ・ 日本に対して「清潔」「安全」「自然が豊か」「物価が高い」「英語が通じない」「天災が多い国」という印象を持っている。

## (2) シンガポール人の食習慣

### 食に対する意識

- ・ 異なる食生活の民族（中国系、マレー系、インド系）が身近に存在する環境にあるため、食文化を含めて、他人の文化を尊重するという意識が確立している（国民全体が同じものを食べるという意識は全くない）。
- ・ 宗教や健康などの理由で個人の好みをオーダーすることが当たり前になっている。
- ・ 食に対する関心が非常に高く、おいしいものにはお金をかける。普段からグルメに関するガイドブックを見ておいしいお店に行くなど、おいしい食事を食べることを喜び・楽しみの一つにしている。外観や雰囲気がいよいお店より、汚くてもおいしいお店の方に人気がある。

### 日常の食事パターン例

- ・ シンガポール人の食事回数は1日3食（夜がメイン）。夕食後、軽い食事（サパー）を楽しむこともある。
- ・ 食生活は外食が中心であり、3食全て外食の人もかなり多い。各民族共通して夫婦共稼ぎが多いことなどから、自炊がライフスタイルに合わない。老若男女を問わず、道を歩きながら買い食いをしている人も多い。
- ・ 朝食は、一般的に自分では作らない（屋台で食べる、メイドが作るなど）。
- ・ 一般的な昼食時間は、12時（もしくは13時）から1時間程度である。

### シンガポール料理の特徴

- ・ 外食産業が非常に発達しており、中華、マレー、インド、タイなどのアジア系料理、フランスやイタリアなどの西洋料理など、世界中の料理が楽しめる。ホーカーセンターやフードコートと呼ばれる大衆向け屋台村が早朝から深夜まで営業しており、「おいしく」「無駄がなく」「安い」料理を楽しむことができる。
- ・ 全体的に、辛くてはっきりした味付けを好む。
- ・ コーヒーをとっても好む。
- ・ シンガポールは国土が狭いため、食材のほとんどが輸入されている。

### 食に対する禁止事項と嫌悪感

- ・ シンガポールは多民族国家であり、食事の好みや禁止事項も多岐にわたる。
  - 中国系は、一部、牛肉やマトンを食べない人がいる。
  - マレー系のほとんどはイスラム教のため、豚肉を食べない。アルコールも飲まない。冷えたものや生ものを食べる習慣がない（デザート以外）。
  - インド系のほとんどはヒन्दゥー教のため、牛肉を食べない（牛肉以外は食べる）。マレー系同様、冷えたものや生ものを食べる習慣はない（デザート以外）。

## テーブルマナー

- ・ 料理によって、箸とレンゲを使う場合(右手で箸を、左手でレンゲを使う)、スプーンとフォークを使う場合(右手でスプーンを、左手でフォークを使う。スプーンで切ってすくって食べる)がある。
- ・ インド系は右手だけを使って食べる。
- ・ 食器をテーブルから持ち上げない(食器に直接口を付けることがタブーである)。
- ・ 音を立てて食事をすることは厳禁である(スープ、麺類など)。
- ・ 食事時の喫煙はタブーである。
- ・ 目上の人と同席する場合、敬いながら食事を取る(席の序列に気を配る、年長者から先に食事に手を付けるなど)。
- ・ 女性と同席する場合、敬いながら食事を取る(レディーファーストなど)。
- ・ チップの習慣はない。

## 日本の食事で好まれるもの

### < 食事内容 >

- ・ 日本食は非常に身近なものである。日本の名物料理や有名な料理は体験してみたいと思われる。
- ・ 寿司が人気になってきた。健康的という理由から、主に若者(特に女性)に好まれる。中高年層は、もともと生ものや冷たいものを好まず、馴染もうとしない。醤油にワサビを大量に溶かして食べることを好む。
- ・ 丼物(うなぎの蒲焼きなど)、ふりかけご飯、お茶漬けなどを好む(シンガポールでは、ご飯の上におかず3~4種類をのせて食べる習慣がある)。
- ・ ラーメン、天ぷら、しゃぶしゃぶ、鉄板焼きも好まれる。最近では、日本の定食を食べる人も増えてきた。
- ・ 食材をそのまま用いて調理する魚料理が好まれる。
- ・ 全体的にはっきりとした味付けが好まれる。

## 日本の食事で嫌われるもの

### < 食事内容 >

- ・ 刺身が食べられない人も多い(サーモンと白身魚は食べられるが、赤身は食べられない人もいる)。
- ・ 日本風の味付けで料理されたものを好まない人もいる(一般的なシンガポール人は、素材を活かした薄味を理解できる)。
- ・ アイスコーヒーは飲む習慣がない(よほど有名なものであれば試す場合もある)。

### < サービス >

- ・ 正座やあぐらが苦手のため、畳の上での料理は好まれない(テーブルもしくは掘りごたつの部屋の方がよい)。

## シンガポール人に対して良いおもてなしをするための推奨事項

### <食事内容>

- ・ 人によって宗教上の食の禁止事項が存在することがあるため、相手の食べられないものを事前に把握しておくことが望ましい。ベジタリアン以外であれば、鶏肉と魚は食べられると考えてよい。
- ・ 特にイスラム教徒が多いマレー系は、血液を不浄なものとして忌避することがあるため、肉類や魚の焼き具合と調理方法には気をつける方がよい。
- ・ コーヒーを好んで飲む習慣があるため、サービスすると喜ばれる（甘い味付けを好むため、砂糖とクリームをたくさん用意するとよい）。

### <サービス>

- ・ 大きく中国系、マレー系、インド系に分かれるため、それぞれの特性を理解したうえで、食べられない食材について必ず確認する。個別の対応を取ると喜ばれる。
- ・ イスラム教徒は1日5回の礼拝を行うため、礼拝の場所と時間について配慮するとよい。

### <情報提供>

- ・ 料理の食材が明確でないと安心して食べることができないため、オーダーを受ける際には、料理に含まれる食材・含まれない食材（豚肉、牛肉など）について説明するとよい。

### <その他>

- ・ イスラム教の断食月の期間には、イスラム教徒の前で飲食を取ることは避ける方がよい（イスラム教徒は日中、水を含めて一切の食事を食べないため、配慮が必要である）。同様に、断食月の期間にイスラム教徒を相手にしたスケジュールを立てる場合、日中の運動やハードスケジュールは避ける方がよい。ただし、イスラム教徒はその日の断食を終えた後（日没後）にたくさんの食事を食べるため、サービスする側は多くの食事を提供するとよい。

## 食事以外の禁止事項

- ・ イスラム教では、頭は神聖なものだと考えられており、人の頭（子供の頭も）を触らない。
- ・ イスラム教では、左手を使うことは避けられる。
- ・ シンガポール国内では、ゴミやタバコのポイ捨て、公共の場でつばを吐く、禁煙場所での喫煙、公共交通機関での飲食、信号機がない場所での道路横断、トイレの水の流し忘れ、チューインガムの輸入販売などが禁止されている。

( 3 ) シンガポールに関する情報の問い合わせ先

・ シンガポール政府観光局

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-6-4 千代田ビル 8 階

TEL : 03-3593-3388、FAX : 03-3591-1480

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-1 大阪シティ・エア・ターミナル 4 階

TEL : 06-6635-3088、FAX : 06-6635-3089

E-mail : info@stb.or.jp

Website :

<http://www.visitsingapore.com/publish/stbportal/ja/home.html>